



第147回例会

1962.5.8 (火) 晴

斎藤求画伯

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次回例会

5月15日 (火)

卓話「春斗を省みて」 今間製作所勤務部長
 本間春海君

○出席報告

本日の出席数 $\frac{32}{47}$ 名
 出席率 68.09%

届出 佐藤(貞)君、小池君、長谷川君、金井(勝)君、大野君、佐藤(寅)君、菅原君、谷口君、津田君、黒崎君、嶺岸君

無届 今間君、斎藤(得)君、板垣君、阿部君

前回の修正 前回出席率 68.09%
 修正出席数 39名
 修正出席率 82.98%

メー 海東君 (山形西R.C.)
 クア ヲ 大野君 (村山R.C.)
 ップ 武田君、佐藤昇君、張君、嶺岸君 (酒田R.C.)

○司会 三浦会長

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○ピジター 高野豊一君 酒田R.C

○ゲスト 山形大学農学部助教授 谷口栄一博士

○連絡事項 三浦会長

- 宮城県北部地震に対して14R.Cに見舞状発送した
- 鹿児島南国新聞鮫島君より礼状来た。
- 村田君転任について来年度出席委員長に斎藤栄作君を推薦することに致します。
 又青少年委員会を設けて小花君、安藤君、石井君の三君を委員をお願いすることに致しました。
- 先日理事会を開催して下記事項決定しました。
- 1. インターシテ、ゼネラル、フォーラムを当方

としては10月中旬頃開くことを希望して問い合わせることとした。

準備委員 阿部、小花、佐藤(伊)、三井賢、安藤、三浦、小池の7君に願う。

経費として2万円交付の予定 (本部より)

2. 6月5日を変更して6月9日まるひろ4階にて創立記念日を催し、本クラブ生みの親安斎先生をご招待することとする。

準備委員 張、飯白、中台、伊藤、武田、田中、三井賢、小池の8君に依頼す。

3. 佐藤寅ノ助君より公務繁忙殊に弘報行政関係上どうしても無理生ずるので、此際退会させて呉れと届出ありましたので理事会で事情を斟酌して受理することに致しました。

○幹事報告 五十嵐副幹事

○会報到着 石巻、八戸、本荘、仙台南、大曲、石巻東、新津

○例会日変更 東京品川R.C

毎木曜を毎金曜に六月より

○チャーターナイト御案内

岩谷堂R.C 6月24日(日) 於市役所
 登録A.M9.00 ¥2,500

浦河R.C 6月2日(土) 於町役場会議室
 登録A.M11.00 ¥1,500

○その他▲下記クラブよりそれぞれ理事役員の決定通知いたゞきました。

弘前R.C 会長 松木英吉 幹事 須藤健蔵
 北条R.C 会長 古下正蔵 幹事 岩本郁二
 山形西R.C 会長 小嶋源之助 幹事 佐々木仁一
 ▲先に地震の見舞状を岩手、宮城北部各クラ

ブへ出しましたが、本日北上クラブより大した被害なく会員皆一切の被害なかつたとの通知ございました。

▲「国民」第754号が出来ました。前東京R.C会長矢野一郎君の「他人のことを考える習慣を」と題する一文が掲載されております。御希望の方は至急御申込み下さい。

○国際奉仕委員会 小花君より

クラールさんより医学図書寄贈ありました。

○親睦委員 張君より

かねて企画して居りました春の家族会を下記より実行致します(但し、曇、晴天の時実施、雨天は中止)

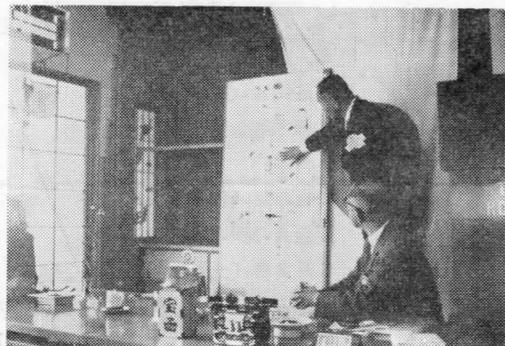
日時 5月27日
行先 荒沢ダム
集合 鶴岡商工会議所前
会費 300円(子供さんは無料)

○卓話 「プロリダ便り」 谷口博士

1 昨年秋出発して今年3月帰国して参りました。レーグランドは人口7万の中都市で、鶴岡程度であります。土地柄で市街地域広汎で皆自動車で通つて居り、亜熱帯で住みよい土地であつた。

南プロリダ大学はメソジスト教の学校で、昨年75周年行事があつた程で古い伝統ある学校で、学生約3,000名、内女性7割の明朗な学校であります。生物研究所はガンにきく薬を研究する所で、数年前より日本人を招聘して居り、所長はソ聯人で、私は植物を主体にエバグレート低湿地帯の土壤からカビを採集してストマイの様なものを研究した。

南の国だけに黒人と白人の差別待遇甚だしい所で、洗濯屋、学校、教会等翻然と区別されて居つた。



失望

ロータリアン達は自分では大いに奉仕活動を行つているし、世間の人々も大いに尊敬してくれるものと考えられるかもしれないが、これは注意しないといけない。大体どのクラブでも広報委員会は消極的な存在であつて、

広報委員に任命されると「占めた。これで1年は楽ができる」と喜ぶのが普通のものである。然しこれではいけないので、次の例に省みて大いに活動を要す。

オハイオ州Kentのロータリークラブは1920年の創立で既に40年間もクラブ活動を続けてきている。この町は人口16,000で大学があり、落ち着いた所である。このクラブの会長William D. Taylor氏が1960年にふと思いついて、町の新聞紙の援助によつて、町の代表的な人々50名と面接して10ヶ条から成る質問をした。その結果は驚くべきもので、相当クラブの人々は失望したのではないかと思われる。

ロータリーはこの地域社会に貢献をしているか? に対して

かなり多く	51%
していない、少し、又は意見なし	49%

ロータリーがこの地域社会に存在する理由ありや? に対して

然り	73%
否又は不明	27%

ロータリー会員は非ロータリー会員と比較して指導力は如何? に対して

高い	44%
低い、普通、不明	56%

ロータリアンと取引することを非ロータリアンとよりも希望するか? に対して

否又は不明	71%
ロータリアンを好む	29%

ロータリーが公衆のために今迄した事の一つを挙げ得るか? に対して

否	82%
できる	18%

他の5ヶ条に就ても悲しむべき結果であつて、40年の長きに亘つて会員が努力、苦心してきたことは一般には殆んど知られていない。アメリカ合衆国でさえこれであるから、我園ではどんなことであろうか。想像しても大きな失望が待つているように感じられる。

○本日の献立

刺身鯛、焼物 鱈とアスパラカス

味噌汁 鯛

新わらび